

# **BladeSymphony 2500 内蔵 1/10Gb LANスイッチ**

## **ファームウェアアップデートガイド**

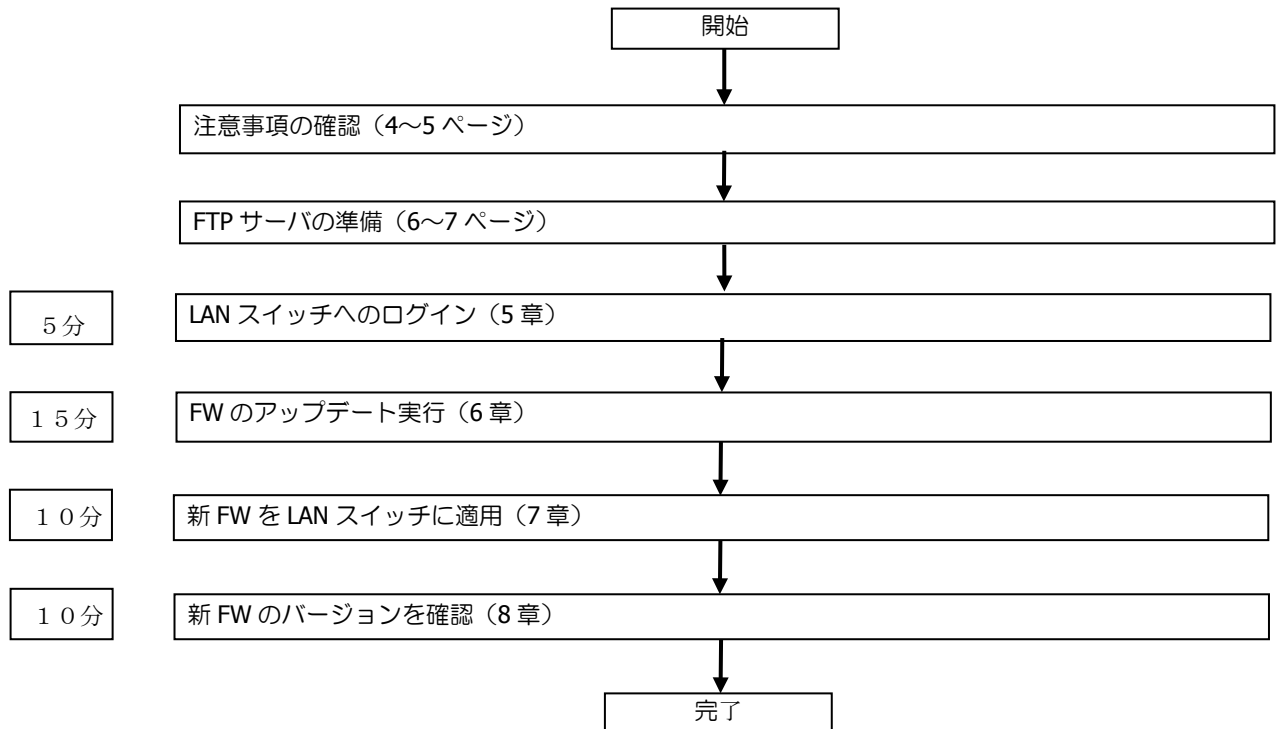
2015年12月（第1版）  
株式会社日立製作所

# CONTENTS

1. 概要.....	3
2. 対象装置.....	4
3. 注意事項.....	5
4. FTP サーバの準備 .....	7
5. LAN スイッチへのログイン .....	9
6. FW アップデート実行 .....	10
6.1. Boot-image のアップデート.....	10
6.2. FW イメージ (image1) のアップデート .....	11
6.3. FW イメージ (image2) のアップデート .....	13
7. 新 FW をスイッチに適用する .....	14
7.1. アップデート前のスイッチ FW バージョンが v7.8.8、または v7.8.9 の場合 .....	14
7.2. アップデート前のスイッチ FW バージョンが v7.8.13、またはそれ以降の場合 .....	16
8. アップデート後の FW のバージョンを確認する.....	18

## 1. 概要

本手順書は、BladeSymphony 2500 内蔵 1/10Gb LANスイッチのファームウェア（以下 LANSFW、またはFWと略す）をアップデートする手順について記載しています。  
FWアップデートの作業フローを以下に示します。



## 2. 対象装置

本手順書の記載内容は以下のLANスイッチを対象としています。

品名	装置形名
BladeSymphony BS2500 内蔵 1/10Gb LANスイッチ	<ul style="list-style-type: none"><li>• BE4LSW1x1スイッチ GV-BE4LSW1N1BX, GV-BE4LSW1N1, GV-SBE4LSW1D1BX, GV-SBE4LSW1D1, GZ-BE4LSW1N1BX, GZ-BE4LSW1N1</li><li>• BE4LSW1x2スイッチ GV-SBE4LSW1N2BX, GV-BE4LSW1N2, GV-SBE4LSW1D2BX, GV-SBE4LSW1D2, GZ-SBE4LSW1N2BX, GZ-BE4LSW1N2</li><li>• BE4LSW1x3スイッチ GV-SBE4LSW1N3BX, GV-BE4LSW1N3, GV-SBE4LSW1D3BX, GV-SBE4LSW1D3, GZ-SBE4LSW1N3BX, GZ-BE4LSW1N3</li><li>• BE4LSW1x4スイッチ GV-SBE4LSW1N4BX, GV-BE4LSW1N4, GV-SBE4LSW1D4BX, GV-SBE4LSW1D4, GZ-SBE4LSW1N4BX, GZ-BE4LSW1N4</li></ul>

### 3. 注意事項

(1) FWアップデートを実施する際には本手順書に加え以下のマニュアルもご参照ください。

- BladeSymphony BS2500 使用上のご注意
- BladeSymphony BS2500 スタートアップガイド
- BladeSymphony BS2500 マネジメントモジュールユーザズガイド
- BladeSymphony BS2500 内蔵 1/10Gb LANスイッチ初期設定ガイド
- BladeSymphony BS2500 内蔵 1/10Gb LANスイッチApplication Guide (英語)
- BladeSymphony BS2500 内蔵 1/10Gb LANスイッチCommand Reference (英語)

(2) FWアップデートにはFTP サーバが必要となります。お客様のネットワークシステム上にFTPサーバが接続されているかどうかを確認してください。

(3) 本手順では、マネジメントモジュールの外部出力ポートを使用して、FWのアップデートを行う例を示します。あらかじめ、外部出力ポート（MGMT1）とアップデート対象LANスイッチの管理インタフェースを接続するよう設定（注1）し、LANスイッチの管理LANのIPアドレスを設定しておいてください。

（注1）：BS2500の場合、マネジメントモジュールのWeb コンソールの管理LAN設定でLANスイッチの管理LAN IPアドレスを設定できます。

LANスイッチの外部ポートを使用してFWのアップデートを行う場合は、FWイメージを格納するFTPサーバをLANスイッチの外部ポートに接続（注2）する必要があります。4章ではコンソールPCをマネジメントモジュールの外部出力ポートに接続する例を示しておりますが、LANスイッチの外部ポートを使用する場合はコンソールPCをLANスイッチの外部ポートへ接続し設定をアップデート手順を進めてください。

（注2）：LANスイッチの外部ポートにスイッチ管理のためのIPアドレスを設定する方法につきましては、内蔵 1/10Gb LANスイッチ Networking OS 7.8対応 Command Referenceをご参照してください。

(4) LANスイッチの管理LANのIPアドレス、および PC（FTPサーバ）のIPアドレスは、マネジメントモジュールの管理LAN設定と同一セグメントのIPアドレスを設定してください。

本手順書で使用するIPアドレスの設定例は以下となります。

- ・ マネジメントモジュール   ： 192.168.0.1
- ・ LANスイッチ       ： 192.168.0.7X（X：スイッチスロット番号）
- ・ PC（FTPサーバ）       ： 192.168.0.100

(5) ご使用するFTPサーバがLANスイッチと同一ネットワークに無い（スイッチ-FTPサーバ間

をルータ経由で接続している) 場合は、LANのダウンロードがtimeoutで失敗する場合がありますので、同一ネットワーク内のFTPサーバを使用してください。

- (6) FWアップデートは通信に影響がありますので、業務運用時間外、または、LANスイッチのすべての接続ポート（管理ポートを除く）を閉塞(shutdown)して、システムから切り離れた状態で作業することを推奨します。
- (7) FWアップデートは、管理者権限（adminロール）を持ったユーザアカウントで実施してください。
- (8) アップデート前のスイッチFWバージョンがv7.8.8、またはv7.8.9の場合は新FWをスイッチに適用するためにLANスイッチのSub 電源Off/Onが必要です。**LANスイッチSub電源Off/Onを実行するには、マネジメントモジュールのFW A0140以降が必要です。**マネジメントモジュールのFWバージョン確認方法については『BladeSymphony BS2500 マネジメントモジュールユーザズガイド』の「現在使用しているマネジメントモジュールファームウェアおよび辞書のバージョンとモジュール系状態を確認する」を参照してください。
- (9) 不測の事態に備え、FWのアップデート作業開始の前に、構成情報のバックアップを実施することを推奨します。構成情報のバックアップについては内蔵 1/10Gb LANスイッチ初期設定ガイド 「構成情報の保管コマンド」、「外部への保管」を参照してください。

## 4. FTP サーバの準備

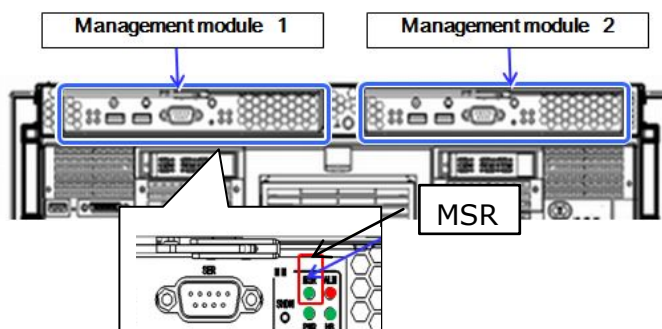
FWのアップデートでは、ネットワークシステム上のFTP サーバを使用します。

本手順では操作用PC上でFTPサーバを動作させることを前提に記述しています。

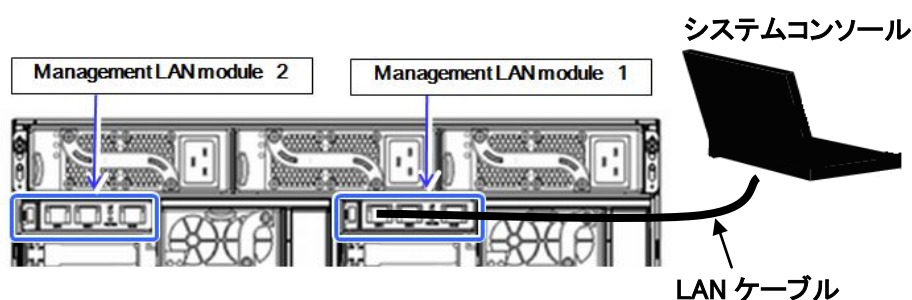
### (1) FTPサーバの接続

BladeSymphonyでは、各モジュールはマネジメントモジュール内で接続されており、マネジメントモジュールの外部出力ポート（MGMT1）にケーブル接続する(注3)ことで、各モジュールの管理LANインタフェースに接続することができます。PCとマネジメントモジュールの接続方法については『BladeSymphony BS2500 マネジメントモジュールユーザズガイド』の「CLI コンソールにログインする」を参照してください。

(注3)：マネジメントモジュールが2台搭載されている場合は、MSRランプが緑色に点灯している側のマネジメントモジュールに接続してください。



BladeSymphony BS2500 (前面図)



BladeSymphony BS2500 (背面図)

### (2) FTPサーバの起動と確認

FTPサーバを起動し、操作用PCからFTP サーバにログインしてFTPサーバの設定（ユーザ名、パスワード、アップロード用フォルダ）を確認してください。

本手順書で使用するFTPサーバの設定例は以下となります。

- ・ ユーザ名 : upload
- ・ パスワード : password
- ・ アップロード用フォルダ : C:\inetpub\ftproot

### (3) FTPサーバ上のFWファームウェアファイル準備

FWアップデートでは、2種類のFWファームウェアファイルが必要となります。

一つはGbSW-1G-v7.8.x.x\_Boot.imgという形式(注4)でLANスイッチの起動直後にロードされるブートコードを格納したイメージファイルです。

もう一方は、GbSW-1G-v7.8.x.x\_OS.imgという形式(注4)でLANスイッチのFWイメージ本体を格納したイメージファイルとなります。

(注4)：“x” はファームウェアのバージョン情報となります。

CD媒体に格納されているファームウェアファイルをFTPサーバのアップロード用フォルダにコピーしてください。

これらのファイル名は「FWアップデート実行」で 사용합니다。

## 5. LAN スイッチへのログイン

以下の手順でLANスイッチにログインしてください。

(LANスイッチの外部ポートを用いる場合はターミナルソフトを起動し、LANスイッチに設定した管理用IPアドレスを用いて直接LANスイッチに接続してください。)

- (1) ターミナルソフトを起動し、マネジメントモジュールの IP アドレスを入力します。

```
telnet マネジメントモジュールの IP アドレス [Enter]
```

- (2) マネジメントモジュールのユーザ名、パスワードを入力して、マネジメントモジュールにログインします。ログインが完了すると、“\$”プロンプトが表示されます。

以下の例では、マネジメントモジュールの工場出荷時のユーザ名：administrator、パスワード：password を使用しています。

```
login: administrator [Enter]
Password: password [Enter] ← パスワードは表示されません。
Last login: Mon Jun  3 02:46:28 from 192.168.0.100
BladeSymphony BS2500 Management Module
ALL RIGHTS RESERVED, COPYRIGHT (C), yyyy, HITACHI, LTD.
Chassis ID      :
Firmware Revision : xxxx-xxx
(0)$
```

- (3) LAN スイッチに接続するため、change console コマンドを使用して対象スイッチを指定します。接続が完了すると、LAN スイッチの “>” プロンプトが表示されます。

以下の例では、LAN スイッチのモジュールの工場出荷時のユーザ名：admin、パスワード：admin を使用し、スイッチスロット#1 のLAN スイッチに接続します。

```
(0)$ change console -s 1 -F [Enter]

1/10Gb LAN Switch Module.
Enter login username: admin [Enter]
Enter login password: admin [Enter] ← パスワードは表示されません。

*** 省略 ***

Switch is in I/O Module Bay 1

Router>
```

## 6. FW アップデート実行

FW アップデートは、copy コマンドを実行することにより、LAN スwitchの Boot-image、または image1/2 に FW をダウンロードし、アップデートを行います。

### 【注意】

FW アップデート中は、絶対に電源を切ったり LAN ケーブルを抜いたりしないでください。

### 6.1. Boot-image のアップデート

“enable”コマンドにより、Privileged Exec mode に移行します。その後、“copy ftp boot-image mgt-port” コマンドを実行し、以下に示すとおり必要な情報を入力し、Boot-image のアップデートを実行してください。（LAN スwitchの外部ポートを用いる場合、“copy ftp boot-image data-port” コマンドを実行してください。）

以下の例では、FW v7.8.9 の LAN スwitchにおいて、192.168.0.100 の FTP サーバ（ユーザ ID: upload, パスワード: password）から v7.8.13 の Boot-image である “GbSW-1G-v7.8.13.0\_Boot.img”を適用する場合の例を示しています。

```
Router>enable [Enter]

Enable privilege granted.
Router#copy ftp boot-image mgt-port [Enter]
Address or name of remote host: 192.168.0.100 [Enter] ← FTP サーバのアドレス
Source file name: GbSW-1G-v7.8.13.0 Boot.img [Enter] ← Boot イメージファイル名
User name: upload [Enter] ← FTP サーバのユーザ ID
Password: password [Enter] ← FTP サーバのパスワード（パスワードは表示されません。）

boot kernel currently contains Software Version 7.8.9
New download will replace boot kernel with file "GbSW-1G-v7.8.13.0_Boot.img"
from SFTP/FTP/TFTP server 192.168.0.100
Connecting via MGT port.
Confirm download operation (y/n) ? y [Enter] ← “y” を入力しアップデートを実行
Image download started to boot kernel

*** 省略 ***

ssing kernel: 100% - done
Processing DFT: 100% - done
Processing Boot loader: 100% - done

File processed
Boot Sector now contains Software Version 7.8.13

Router#
```

## 6.2. FW イメージ (image1) のアップデート

続いて、“copy ftp image1 mgt-port” コマンドを実行し、以下に示すとおり必要な情報を入力し、FW イメージを image1 に適用してください。（LAN スイッチの外部ポートを用いる場合、“copy ftp image1 data-port” コマンドを実行してください。）

以下の例では、FW v7.8.9 の LAN スイッチにおいて、192.168.0.100 の FTP サーバ（ユーザ ID: upload, パスワード: password）から v7.8.13 の FW イメージである "GbSW-1G-v7.8.13.0\_OS.img"を適用する場合の例を示しています。

```
Router#copy ftp image1 mgt-port [Enter]
Address or name of remote host: 192.168.0.100 [Enter] ← FTP サーバのアドレス
Source file name: GbSW-1G-v7.8.13.0 OS.img [Enter] ← FW イメージファイル名
User name: upload [Enter] ← FTP サーバのユーザID
Password: password [Enter] ← FTP サーバのパスワード (パスワードは表示されません。)

image1 currently contains Software Version 7.8.9
that was downloaded at 4:22:35 Wed Aug 5, 2015.
New download will replace image1 with file "GbSW-1G-v7.8.13.0_OS.img"
from SFTP/FTP/TFTP server 192.168.0.100.
Connecting via MGT port.

WARNING: This operation will overlay the currently booting image.
Confirm download operation (y/n) ? y [Enter] ← “y” を入力しアップデートを実行
Image download started to image1

*** 省略 ***

Processing Application: Installing image as image1: 100% - done
Image1 updated successfully

Verification of new image1 in FLASH successful.
image1 now contains Software Version 7.8.13

File processed

Switch is currently set to boot software image2.
Do you want to change that to the new image1? [y/n] n [Enter] ← このメッセージが表示された場合は “y” または “n” のどちらかを入力しアップデートを実行（注5）

Software to be booted remains image2.

Router#
```

(注5)

本スイッチはFW イメージの格納先として image1 と image2 の2面を有しており、どちらか一方のイメージにて稼働しています。これは、“show boot” コマンドで確認することができます。

```
Router#show boot [Enter]
Current running image version:7.8.9
Currently set to boot software image1, active config block.
NetBoot: disabled, NetBoot tftp server: , NetBoot cfgfile:
Current FLASH software:
  image1: version 7.8.9, downloaded  4:41:09 Wed Aug  5, 2015
  image2: version 7.8.9, downloaded  4:43:36 Wed Aug  5, 2015
  boot kernel: version 7.8.9
Currently scheduled reboot time: none

Router#
```

FW のアップデートにおいて、現在稼働中の image (image1 or image2)と、“異なる” image に対してアップデートを実行した場合、本（注5）で示す確認メッセージが表示され、次のスイッチブート時における稼働 image を変更することができます。本手順書では、image1, image2 両面ともアップデートを実施する手順を説明しているため、“y” または “n” のどちらを選んでいただいても構いません。

また、この image は、グローバルコンフィグレーションモードにておいて“boot image {image1|image2}”コマンドにより変更可能です。詳細は、内蔵 1/10Gb LAN スイッチモジュール Command Reference “Selecting a Software Image to Run” を参照してください。

### 6.3.FW イメージ（image2）のアップデート

同様に、“copy ftp image2 mgt-port” コマンドを実行し、以下に示すとおり必要な情報を入力し、FW イメージを image2 に適用してください。（LAN スイッチの外部ポートを用いる場合、“copy ftp image2 data-port” コマンドを実行してください。）

以下の例では、FW v7.8.9 の LAN スイッチにおいて、192.168.0.100 の FTP サーバ（ユーザ ID: upload, パスワード: password）から v7.8.13 の FW イメージである "GbSW-1G-v7.8.13.0\_OS.img" を適用する場合の例を示しています。

```
Router#copy ftp image2 mgt-port [Enter]
Address or name of remote host: 192.168.0.100 [Enter] ← FTP サーバのアドレス
Source file name: GbSW-1G-v7.8.13.0 OS.img [Enter] ← FW イメージファイル名
User name: upload [Enter] ← FTP サーバのユーザID
Password: password [Enter] ← FTP サーバのパスワード（パスワードは表示されません。）

image1 currently contains Software Version 7.8.9
that was downloaded at 4:22:35 Wed Aug 5, 2015.
New download will replace image1 with file "GbSW-1G-v7.8.13.0_OS.img"
from SFTP/FTP/TFTP server 192.168.0.100.
Connecting via MGT port.

WARNING: This operation will overlay the currently booting image.
Confirm download operation (y/n) ? y [Enter] ← “y” を入力しアップデートを実行
Image download started to image1

*** 省略 ***

Processing Application: Installing image as image2: 100% - done
Image1 updated successfully

Verification of new image1 in FLASH successful.
image1 now contains Software Version 7.8.13

File processed

Switch is currently set to boot software image1.
Do you want to change that to the new image2? [y/n] n [Enter] ← このメッセージが表示された場合は “y” または “n” のどちらかを入力しアップデートを実行（注5）

Software to be booted remains image1.

Router#
```

## 7. 新 FW をスイッチに適用する

### 7.1. アップデート前のスイッチ FW バージョンが v7.8.8、または v7.8.9 の場合

アップデート前のスイッチ FW のバージョンが v7.8.8、または v7.8.9 の場合、アップデート後の FW を LAN スイッチに適用するためにはスイッチの Sub 電源 Off/On が必要です。

以下の手順に従い、新ファームウェアをスイッチに適用してください。

**LAN スイッチ Sub 電源 Off/On を実行するには、マネジメントモジュールの FW A0140 以降が必要です。** マネジメントモジュールの FW バージョン確認方法については『BladeSymphony BS2500 マネジメントモジュールユーザズガイド』の「現在使用しているマネジメントモジュールファームウェアおよび辞書のバージョンとモジュール系状態を確認する」を参照してください。

---

#### 注意

LAN スイッチファームウェア v7.8.8 または v7.8.9 から v7.8.13（またはそれ以降）へファームウェアをアップデートする際、更新ファームウェアをスイッチに適用する際に「スイッチモジュール I2C エラー」の SEL (System Even Log) が採取される可能性があります。本エラーは、スイッチモジュールの新ファームウェアの適用が完了し、スイッチモジュールが起動するとエラー状態から回復します。これは、「スイッチモジュール I2C エラー回復」の SEL が採取されることで確認することができます。本エラー回復の SEL が確認できた場合は、ファームウェア適用時に採取されるエラー SEL は無視して問題ありません。

---

- (1) ターミナルソフトを起動し、マネジメントモジュールの IP アドレスを入力します。

```
telnet マネジメントモジュールの IP アドレス [Enter]
```

- (2) マネジメントモジュールのユーザ名、パスワードを入力して、マネジメントモジュールにログインします。ログインが完了すると、"\$"プロンプトが表示されます。

以下の例では、マネジメントモジュールの工場出荷時のユーザ名：administrator、パスワード：password を使用しています。

```
login: administrator [Enter]
Password: password [Enter] ← パスワードは表示されません。
Last login: Mon Jun  3 02:46:28 from 192.168.0.100
BladeSymphony BS2500 Management Module
ALL RIGHTS RESERVED, COPYRIGHT (C), yyyy, HITACHI, LTD.
Chassis ID      :
Firmware Revision : xxxx-xxx
(0)$
```

- (3) “poweroff sw-module” コマンドを実行し、スイッチモジュールの Main 電源を Off します。  
スイッチモジュールスロット番号には FW アップデートを実施したスイッチモジュールス  
ロット番号（1 または 2）を指定してください。

**本コマンドを実行すると、スイッチの電源が OFF され、通信が一時的に不通となります。  
問題無いことを確認の上 “y” を入力し、スイッチを再起動してください。**

```
$ poweroff sw-module <スイッチモジュールスロット番号 (1 または 2)> [Enter]
Confirm? (y/[n]):y [Enter]
I0054 : <Switch module X> Power off was completed.
S0002 : Command succeeded.
S0000 : Command was finished.
$
```

- (4) “sub-power-cycle sw-module” コマンドを実行し、スイッチモジュールの Sub 電源を Off/On  
します。スイッチモジュールスロット番号には FW アップデートを実施したスイッチモジ  
ュールスロット番号（1 または 2）を指定してください。

```
$ sub-power-cycle sw-module <スイッチモジュールスロット番号 (1 または 2)> [Enter]
Confirm? (y/[n]):y [Enter]
I0057 : <Switch module X> Switch module sub power cycle was completed.
S0002 : Command succeeded.
S0000 : Command was finished.
$
```

- (5) “poweron sw-module” コマンドを実行し、スイッチモジュールの Main 電源を On します。  
スイッチモジュールスロット番号には FW アップデートを実施したスイッチモジュールス  
ロット番号（1 または 2）を指定してください。

```
$ poweron sw-module <スイッチモジュールスロット番号 (1 または 2)> [Enter]
Confirm? (y/[n]):y [Enter]
I0053 : <Switch module X> Power on was completed.
S0002 : Command succeeded.
S0000 : Command was finished.
$
```

- (6) スイッチモジュールが起動するまで5分ほど待ちます。

この間、上記 “注意” 記載の「スイッチモジュール I2C エラー」の SEL が採取される可  
能性があります。その場合、スイッチが新ファームウェアにて正常に起動し、「スイッチモ  
ジュール I2C エラー回復」の SEL が採取されることを確認できた場合、本エラーは無視して  
頂いて構いません。

## 7.2. アップデート前のスイッチ FW バージョンが v7.8.13、またはそれ以降の場合

アップデート前のスイッチ FW のバージョンが v7.8.13、またはそれ以降の場合、アップデート後の FW を LAN スイッチに適用するためにはスイッチのリロード（再起動）が必要です。以下の手順に従い、新ファームウェアをスイッチに適用してください。

- (1) ターミナルソフトを起動し、マネジメントモジュールの IP アドレスを入力します。

（すでに LAN スイッチの CLI コンソールに接続済の場合は手順（4）までスキップして下さい。LAN スイッチの外部ポートを用いる場合はターミナルソフトを起動し、LAN スイッチに設定した管理用 IP アドレスを用いて直接 LAN スイッチに接続し、手順（4）までスキップして下さい。）

```
telnet マネジメントモジュールのIPアドレス [Enter]
```

- (2) マネジメントモジュールのユーザ名、パスワードを入力して、マネジメントモジュールにログインします。ログインが完了すると、“\$”プロンプトが表示されます。

以下の例では、マネジメントモジュールの工場出荷時のユーザ名：administrator、パスワード：password を使用しています。

```
login: administrator [Enter]
Password: password [Enter] ← パスワードは表示されません。
Last login: Mon Jun  3 02:46:28 from 192.168.0.100
BladeSymphony BS2500 Management Module
ALL RIGHTS RESERVED, COPYRIGHT (C), yyyy, HITACHI, LTD.
Chassis ID      :
Firmware Revision : xxxx-xxx
(0)$
```

- (3) LAN スイッチに接続するため、change console コマンドを使用して対象スイッチを指定します。接続が完了すると、LAN スイッチの “>” プロンプトが表示されます。

（すでに LAN スイッチの CLI コンソールに接続済の場合、本手順はスキップして下さい。）

以下の例では、LAN スイッチのモジュールの工場出荷時のユーザ名：admin、パスワード：admin を使用し、スイッチスロット#1 の LAN スイッチに接続します。

```
(0)$ change console -s 1 -F [Enter]

1/10Gb LAN Switch Module.
Enter login username: admin [Enter]
Enter login password: admin [Enter] ← パスワードは表示されません。

*** 省略 ***

Switch is in I/O Module Bay 1

Router>
```

- (4) LAN スイッチ CLI 上で “enable” コマンドを実行します。続いて、“reload” コマンドを実行し、スイッチを再起動します。“reload”コマンドを実行すると、スイッチが再起動され、通信が一時的に不通となります。問題無いことを確認の上 “y” を入力し、スイッチを再起動してください。

```
Router>enable [Enter]
Enable privilege granted.

Router#reload [Enter]
Reset will use software "imageX" and the active config block.
>> Note that this will RESTART the Spanning Tree,
>> which will likely cause an interruption in network service.
Confirm reload (y/n) ? y [Enter]

Resetting at 4:46:01 Wed Aug 5, 2015...

Received disconnect from xxx.xxx.xxx.xxx: 11: Logged out.
```

- (5) スイッチモジュールが起動するまで5分ほど待ちます。

## 8. アップデート後のFWのバージョンを確認する

- (1) ターミナルソフトを起動し、マネジメントモジュールのIPアドレスを入力します。

(すでにマネジメントモジュールの CLI コンソールに接続済の場合は手順(4)までスキップして下さい。LAN スイッチの外部ポートを用いる場合はターミナルソフトを起動し、LAN スイッチに設定した管理用 IP アドレスを用いて直接 LAN スイッチに接続し、手順(4)までスキップしてください。)

```
telnet マネジメントモジュールのIPアドレス [Enter]
```

- (2) マネジメントモジュールのユーザ名、パスワードを入力して、マネジメントモジュールにログインします。ログインが完了すると、“\$”プロンプトが表示されます。

以下の例では、マネジメントモジュールの工場出荷時のユーザ名：administrator、パスワード：password を使用しています。

```
login: administrator [Enter]
Password: password [Enter] ← パスワードは表示されません。
Last login: Mon Jun  3 02:46:28 from 192.168.0.100
BladeSymphony BS2500 Management Module
ALL RIGHTS RESERVED, COPYRIGHT (C), yyyy, HITACHI, LTD.
Chassis ID      :
Firmware Revision : xxxx-xxx
(0)$
```

- (3) LAN スイッチに接続するため、change console コマンドを使用して対象スイッチを指定します。接続が完了すると、LAN スイッチの “>” プロンプトが表示されます。

以下の例では、LAN スイッチのモジュールの工場出荷時のユーザ名：admin、パスワード：admin を使用し、スイッチスロット#1 の LAN スイッチに接続します。

```
(0)$ change console -s 1 -F [Enter]

1/10Gb LAN Switch Module.
Enter login username: admin [Enter]
Enter login password: admin [Enter] ← パスワードは表示されません。

*** 省略 ***

Switch is in I/O Module Bay 1

Router>
```

- (4) LANスイッチCLI上で“show boot” コマンドを実行し、“Current running image version” で表示されるFWバージョンを確認し、新FWがスイッチに適用されていることを確認します。続いて、“boot kernel:” で表示されるブートコードのバージョンを確認し、新ブートコードがスイッチに適用されていることを確認します。

以下の例で、FW バージョン v7.8.13 を適用後に表示される“show boot” コマンド実行例を示します。

```
Router> show boot
Current running image version:7.8.13
Currently set to boot software image1, active config block.
NetBoot: disabled, NetBoot tftp server: , NetBoot cfgfile:
Current FLASH software:
  image1: version 7.8.13, downloaded  4:41:09 Wed Aug  5, 2015
  image2: version 7.8.13, downloaded  4:43:36 Wed Aug  5, 2015
boot kernel: version 7.8.13

Currently scheduled reboot time: none
Router>
```